地下水の揚水施設の構造等

	名称又は番号		
揚水施設の構造	設置・変更年月日	年 月	日
	さく井年月日	年 月	日
	深度(地表面下m) · 側管口径(mm)	深度	m、 側管口径 mm
	ストレーナー の 位 置 (地 表 面 下 m)	$m \sim m$, $m \sim m$,	$m \sim m \\ m \sim m$
揚水機	種類・名称・型式		
	原動機の出力・揚水能力	kw	0/分
	吐 出 口 断 面 積	$\rm c~m^{2}$	
水量測定器	種類・名称・型式		
	検 定 年 月 日		
地下水位	計 測 方 法 (計 器 名 称)		
	静止水位、揚水水位(地表面下m)	静止水位 m、	揚水水位 m
地下水揚水量		m³	(1日平均)
地	下 水 の 用 途		
施設数、吐出口断面積の合計、地下水揚水量の合計			
変更前	施設数、吐出口断面積の合計	本	c m²
	地下水揚水量の合計	m ³	(1日平均)
変更後	施設数、吐出口断面積の合計	本	c m ²
	地下水揚水量の合計	m ³	(1日平均)
揚水施設担当者 所属、氏名、電話番号			

備考 1 必要に応じ図面を添付すること。

- 2 複数の揚水施設の設置(変更)の場合は、地下水揚水施設の構造等については、揚水施設ごとに作成のこと。ただし、「施設数、吐出口断面積の合計、地下水揚水量の合計」の欄については、1枚目に記入し、2枚目以降には記入しないこと。
- 3 完成後、揚水試験を実施したときは、その報告書の写しを提出すること。